

清東麒麟
酒東鳳

IND. AGRICOLA
CAMPINEIRA LTDA
Caxias do Sul, SPANIO

チヤハル部隊、敵背後を衝く

（東京廿四日）杉山陸相は廿四日衆議員小會派代表懇談會に於て、平漢線及び津浦線によつて北上しつゝある中央軍は約三十個師、兵數四十萬で上つてゐる旨説明した。

【峽陽關廿四日同盟特派員發】形を整へてゐた、南口鎮より進天下三險の一つ峽陽關奪取戰は撃した先發部隊は左翼に並ぶ家

我飛行隊は朝來惡天候を以て南口方面の戦闘に直接協力しと共に延慶、懷來等の後方部隊に爆撃を敢行し敵を潰亂に陥らしめ敵城、新保安一帯を遮りしめ敵に對し空中攻撃を加へつゝあり、又平綏線上の二十四日朝關東軍察哈爾作戦軍の○部隊は萬全（張家口西北十五キロ）を完全に占領し續いて前進中なり、又同時に○部隊は孔家莊（萬全南方十三キロ）を占領し平綏鐵道を完全に二分せり

峽陽關奪取戰

【東京廿四日】廿三日朝遂に支那軍が難攻不落を誇つた天險の平緩線沿線の峽陽關を占據した。居して防備を固めてゐるので、【峽陽關占據】我先發部隊は三日午後より〇〇部隊と協力攻二十三日前六時半完全に峽陽關を占領し堂々入城した、第八撃を加へこれを沈黙せしめた

ソ
聯
赤
軍

寢刃を砥ぐ

十二日ソウエ
區沿岸コイン瀬
に軍艦二隻を派
遣し、又その東方六キロの地點に天幕百個所を設ける外
飛行機數十機集結を行つた、右は赤軍演習とも見られる
が、時節柄その動靜は注目されてゐる

ラチオ、演藝まで協力
一大國民運動實施

國民精神總動員、閣議で決定

【東京廿四日】本日の定例開議可決、次いで賀屋藏相より事變定した國民精神總動員實施要綱は左の如く發表された

一、趣旨、學國一致現下の時局に對處すると共に時艱を克服し官民一體、一大國民運動を起さんとす

一、名稱、國民精神總動員

一、運動の目標、學國一致盡忠報國の精神を擧ぐし事態が如し

【東京廿四日】本日の定例開議可決、次いで賀屋藏相より事變定した國民精神總動員實施要綱は左の如く發表された

一、趣旨、學國一致現下の時局に對處すると共に時艱を克服し官民一體、一大國民運動を起さんとす

一、名稱、國民精神總動員

一、運動の目標、學國一致盡忠報國の精神を擧ぐし事態が如し

、實施期間（中略）
、實施方法、諸會社、銀行、工場、商店等に於ては夫々實施計畫を樹立し實行するやう協力を求むる、各種言論機關に對してその協力を求むる、ラヂオの利用を計る、文藝、音樂、演藝等關係者の協力を求むる

時局の急務に關し
臨時議會召集

集に關する詔書は本日内閣より上奏御裁下を仰ぎ同日官報號外を以て左の如く公布された

詔書
朕時局ノ急務ニ關シ議會ノ協賛ヲ望ムモノナリ、茲ニ帝國憲法第七條及ビ第四十三條ニヨリ本年九月三日ヲ以テ臨時帝國議會ヲ東京ニ召集シ五日ヲ以テ會期トナスベキコトヲ命ズ

二對四
小敵と侮り
敵の優秀機、襲來

十二
我機の神業に九機撃墜

七

【東京廿四日】廿三
日午前九時半頃我が
○海軍航空部上空
○機四機が上海黃山附近の上空
千米突乃至五千米突の高空を警
戒飛行中、カーチス、ホーク及
びボーイングなどの優秀戦闘機
よりなる敵機二十七機と遭遇し
た、敵機は小數の我が機を侮り
堂々三發配備の

の勇猛果敢な攻撃に敵機は體慄
を亂して飛散するや、我が機は
上下から厄巴と先づ敵指揮機は
集中射撃を與へ遂に同指揮機は
紅蓮の炎に包まれて墜落、續く
敵機に次から次へと壯烈な猛射
を浴びせ續く間に九機を撃墜、
一機は白煙を引きながら残機は
くやうに地に逸走、殘機はげ
らんに貫透して終つた

戰鬪

て来たが、わが四機は機翼を並べ全速力で中央部の敵指揮機を目標けて敵の縦隊内に突入、この機は如く

國民政府漸く赤化
人民戰線派も合同工作

府の命に 府は左傾分子勢力増加赤化色彩 一、上海交戦地

より釋放された獨秀は廿三日、濃厚化し行くものと見られてゐる。午後蘇州監獄を五時に出獄、直に南京に向つた。南京では蔣介石は向國要人と會見、蔣介石に基き蘇州監獄より釋放される後南京等の問題につき研究を開始したのと見られるが、曩に釋放された人民戰線派の人々が抗日戰線人と今後の活動費に關し協議をすること甚大なるものがあると見られてゐる、尙同委員會委員長は陳鈞壽郭沫若は過日日本より歸來した郭沫若が就任制策するのを注目して引いてゐる。

支那匪徒防止、爲替維持策
一、資本逃避を有し、
一、民國生產維持繼續策
一、戰時教育方策
一、戰後秩序維持策

非武装地帯
投下爆弾は

全部支那側

主海廿三日」我軍當局は南
×公司爆破の原因につき
より投下されたる爆彈の炸
認定左の如く發表した

本日南京路に投下せられ
爆彈につき工部局本部に
我海軍爆撃専門家の鑑定
ところによれば、本品は

カザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá, 25 — C. Postal, 911 — SANTOS
Phones: 2105 e 2106 — End. Teleg.: "TOZAN"

東 山 銀 行 部

伯貨定期預金 一ヶ月六分

サンパウロ事務所

Rua Florencio de Abreu Ns. 74/76

Telephones: 2-1685 — 2-2981

取 次 所

Rua Conde do Pinhal, 120 - Tel. 2-3706

Caixa Postal, 528 — SÃO PAULO — End. Teleg.: "TOZAN"

リンス事務所

Av. Voluntario Rosalino Silva, 147

Caixa Postal, 11 — LINS

Phone 240 — End. Teleg.: "TOZAN"



BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.

(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)

Rua da Candelaria N.º 23

Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

新令に其ひて御申込に依ひ申請の上許可を得て御取扱い致します。法令によつて唯今の處迄金銀は一ヶ月一人につき二コソント以内しか出来ません。送金は無手續料にて御指圖通り御取扱い致します。

日本貨物金

當行内地各店の定期預金又は特別貯蓄預金とせらるゝため御送金なさる場合は前項に準じて御取扱ひ致します。定期預金利息は現在年三分三厘の額であります。

當行各店發行國貨其他の預金證書特別當座預金等は期日可成好い相場にて御買取の貨にて御交換ひ致します。

借貸預金

定期預金六ヶ月以上利率當分年三分五厘の額であります。外に當座預金、特別貯蓄預金等御便宜御取扱ひに申し上げます。

横濱正金銀行

リオデジャネイロ支店

引張糸一の馬尾の着式復耳
爆彈にして後部に輕合金を
使用して、白色炸藥を充填
しあり重量約二百五十キロ程
度のものと想像へ、彈頭及
び彈の後半部に信管そのまゝ
現存し本爆彈は炸裂しをらさ
るその破損狀態よりみて高
度より投下されたるものと鑑
定さる

爆彈の形式、彈底背の文字
及び塗色などよりして全然帝
國のものにあらずることを確
言する

蓄音器
コロムビア
レコード
針も勿論
コロムビア
コロムビア



御註文は直接日根野とは各種樂生

裁制力武迄く飽

敵の長期作戰に 斷乎、鐵槌の覺悟

【東京廿四日】杉山陸相は廿三日政府と政友兩黨懇談會席上日支事變に對する決意を闡明し帝國は可及的速かに事變終極に導くことを企圖とし、斷じて支那側の長期作戰には依らず積極的行動に出で速かに支那をして抗日意圖を絶滅せしめるに努める旨述べた

裁制

【東京廿三日】 山陸相、米内海相、廣田外相等、杉山陸相は廿三日行はれたる政府と政民兩黨の懇談會席上なしたと同様、事變の内容と政府の決意につき説明が、その後懇談に遺入つたが、前田、島田兩氏より

今時局に對する國民の信念は既に完全に一致してゐるのであるから、政府の斷乎たる決意を以て難局打開に直進された、今議會に提出する政府の諸法律案に對しては政友會は

極力これが通過に努力して全的に政府に協力の實を擧げるに決意である、たゞ國民は右の如く全國を舉げて政府に協力する考を持つてゐるのであるから政府はこの際國民經濟に運用の妙を發揮せられたいと政府を擁護し、これに對し各相より希望に添ふ旨を答へ、このに政府と政民兩黨の協力が固く結ばれるに至つた

英米共同動作斥け
飽くまで中道固守

捲込まれる懸念の如きは毫
ないから國民は安心して近
將來の成果に期待されたい

【東京廿三日】時局重大化に備明要旨左の通り
 (奉國一致の強化を)目指す政府
 と政友會官邸との懇談會は本日
 夜首相官邸に開かれ、政友會
 側より前田、島田兩代行員、松
 野幹事長、政府側から近衛首相
 以下各閣僚出席、近衛首相、杉

米國政府は日支兩國が戰爭に
 訴へず、兩國間の紛争を米國
 民のみならず、世界の大部分
 の國民の輿論が依つて以て國
 際關係に律すべきとなす見解
 に基き解決すべきことを要請
 する、米國政府は紛争勃發當
 排除する方針である、米國政
 府の方針は國際的協力にあり
 七月十六日附聲明に列舉した
 各種の目的を平和的手段によ
 り達成するのがその目的だ、
 世界の何處たるを問はず不幸
 に重大なる敵對行為が存在
 し、若しくは勃發の恐れある

今次議會召集は

【東京廿三日】日支事變の全面的擴大に應じて朝野の國民的協力を新にし、且つ事變に必要な追加豫算並に財政經濟上の非常統制法案を審議すべき第三回臨時議會は愈よ九月三日に召集されるが、これが詔書は廿四日の常例閣議に於て國務大臣の副署を了した後、御裁下を仰ぎ邸に衆議院の小山兼松正副議長

る、政府は廿四日午後首官相合せた

田口書記官長をはじめ望月啓介
安達謙蔵、安部磯雄、麻生久、
松方幸次郎、中野正剛等の諸會
派代表を招待し午宴を共にした
る後、前日同様な次事變に處す
る政府の方針を説明し協力一致
して事務局に對處することを申し

歴史的にもその意義を重大視せら

日本の心痛は當然

『伯林廿二日』日支事變に關する獨乙各紙の論調は四、五日前から際立つて日本に有利に展開して來てゐるが、ベルリナー・タデーブラット紙は二十二日ルドルフ・フイッシャ習名の「天孫の偉業」と題する論説を掲載、大要次の如く述べてゐる

蘆山會議に宋慶齡、蔣介石の長男の共產黨領袖が參加したとの日本側の報道は眞實であらう、以上の事實によつても大陸政策を繞る日本の心痛が然邊に存するに諒解出来るが、倣に支那に最も容易に足場を得るソヴェット聯邦を日本

の牽制力として聲援したのは英國である、今日の日本の立派な場面に對し時代遇れの規準を以て非難しても全く當らぬ、日本の重大決心の裏には嚴然たる必要の存在するを認識せねばならぬ、一時の思ひきで日本の決意に對抗することは愈や困難とならう、天孫の偉業を繼ぐ東亞の日出る國の勢力圏が擴大した曉には英國の治祭に關するといふ問題も、曾て英國大使が熱河で○帝より受けた辱に應答したやうに簡單に行くと考へては大間違ひだ

食糧滿載して
特務艦、上海へ急行

【東京廿四日】上海方面に於ける支那軍の暴戾なる行動は同地帯住民全般に想像以上の災禍を及ぼしてゐるが、その被害は重砲彈、爆彈又は放火、掠奪等直種の食糧品を積載上海、青島に送付することゝなつた

は食糧品の缺乏に襲はれて無辜の市民達を困窮せしめてゐる

居留民に

帝國海軍では同事仲野に來津
德の火蓋を切ることに對し出來
る限りこれ等災害に苦しみむが
住市民の救護に努めてゐるが
更にこの度特務艦○○に食糧
を満載して上海に特派せしめ
たところ昨夕上海に到達した
が、この救恤の手はたゞに住
邦人だけに留らず第三國人は
もとよりのこと支那市民にも
等しくよく伸ばるゝと上海在住
各國人の感謝の的となつてゐ
る

【東京廿四日】在華日本紡績同
業會では廿三日棉業會館に委員
長崎出帆の上海丸に積み込み上
海に急送することゝなつた

三 長崎縣知事慰問
長崎縣知事慰問
【東京廿二日】上海で悲壯な勞
苦を續ける我が居留民に對して
去る廿日第一回の慰問品を急送
した、長崎縣當局、同商會議
所では更に第二回の見舞品とし
て玉葱、梨、馬鈴薯、キャベツ
キヤラメ、氷砂糖、煙草一萬
人分と夫々現金三千圓を二十日

聖市
 サン・ジョアキン街四七
 林 西洋洗濯所
 電話七二三七五五
 御菓子
 コンセリエイロ
 フルタード街三番
 西中菓子店
 電話二一八三八三

募 集
 苦學生 數名
 御希望の方は御來談又

教師招聘

伯國法規に因る有資格者
男女を問はず
希望の方は履歴書添付至急御
照會相成度し

ベラヴィスタ日本人會長
春藤東

五千平方メートルにアスパルゴ植付
電車に便良住宅格安に貸し度し
委細
Leonidas
R. Florencio Abreu, 129B
ミッシンに充分経験ある裁縫助手
至急雇ひ度し
詳細は左記へ、當方日本人
R. Maestro Cardim, 91
S. Paulo

Dentista
Biriguy
Villa Nipolandia

齒科醫
伊藤達馬
ビルダキ・ピラ・
ニツボランジャ

Dr. R. UCHIDA
Pres. Prudente

醫學士 内田利藤次

ブ・ブルデンテ市マノ
エルゴウラルテ街七六

電話 一五〇番
郵函 四二八番

リンス 山本製菓所

和
ぜん
べい

ELECTRA O MELHOR RELOGIO SUÍSSO



UNICOS DEPOSITARIOS
JOALHARIA
CASA CASTRO
QUAIS DE MOVIMENTO DE ESTO SUÍSSO

寶石商
カーザ・カストロ

總領事館、ブラジル拓殖組合、海外
興業會社、各地小學校并に運動團體
より御買求めの榮を賜る

前略 我が國千三百年前の大昔よりお灸とマツサージ術は外科的及び内科的疾患に唯一の治療法として盛んに活愛されて居ります事は申也もなく皆様御承知の通りであります就きましては：不省従来の舛論と實験とに依りまして此度〆御地御不快者願社の爲め左記の通り出張いたし満空の誠意を以て施療さして戴く事に成りましたから何卒お迷ひなく直ぐさま御來車下さる様願しふ存じます

◎男女一代無病幸福長壽の灸點は無料奉仕◎

出張 平田旅館様方へ

九月一日より九月十日迄

川 敬白

Caixa, 1897

Akaki & Cia.
COMISSÕES - CONSIGNAÇÕES E CONTA PRÓPRIA

São Paulo

日本より

直輸入

大量入荷

「アルセニコ
ブランコ」

多大の好評と母國農林省性能
試験に優良合格せる

ヤマト製

三笠印噴霧器

望月勝之助 君に告ぐ

例のモジアナ線の伊藤氏よりカミニオンを送る様に電報が来てゐますが住所不明の爲困つてゐます、別に話なき事もありますので至急御歸り下さい

マリリア市 山下商店内

刈茅

各種寫真機

斬新品豐富
燒付現像其他全
聖市一

御申越込
次第新カ
タログ
進呈

The image is a black and white advertisement for 'KOSMOS FOTO'. It features a large, bold, sans-serif font for 'KOSMOS FOTO' at the top. Below the text is a stylized, abstract illustration of a person's silhouette, possibly a dancer or a figure in motion, rendered in a high-contrast, graphic style. The background of the illustration is dark and textured.

KOSMOS FOTO

Rua São Bento 288 ~ Tel. 2-5882

難病が治る

薬や其他あらゆる療法も効なき方
手術嫌ひの方や不治病とお歎きの方

來れ

奏効無比**無痛無痕藥玉鍼灸**

本院獨特効果的確、ありふれた温灸とは全く違ふ、手術を要する病や慢性悪疾の難病も短日にて治る、疝虫・瘰癧・小瘡・乳腫・下痢等一回にて即効あり

諸病必治斷食療法責任指導

本療法は命の洗濯、身體の大掃除且つ大修繕、不治と見られし難病が全快せし實例尠からず

家傳と學理二十ヶ年余體験　元海軍工廠勤務
誠実篤專出　物理醫療士

ノロ線リンス市リオ・ブランコ街四六九
中村物理療院

無料施術：本院にて不治の方及び不境にある方■本院は治病本意につき自信なき方は即時お断りし、引受し方には精神努力以て短日間にお満足を與ふ

骨接ぎ、打身、挫けしき

永年研究せし技術
傳打身業にて迅速治療

如何なる病も適當の療法に會へば吃度痊愈
夏日に治る病に大金を費し悩む方のため謹告す

噴霧器——優良品

エッセルシオール 印

銅製及眞鍮製



EXCELSIOR

若人の誇をこゝに

ハ延陸上大會 開く

雨中の接戦・緑園優勝す

昨年度全日本大会の覇者バリスラ・延陸青年連盟主催の第七回ハ延陸上大会は、新設グラウンドの開設を記念して二十三日の雨の日に同競技場に於いて華々しく行われた。新設グラウンドは地肌も真新しく赤土に、白線のコースをクッキリと書き、新緑の周囲の珈琲園に反映して新興バリスラ延陸青年の意気を發揚してゐた。前夜の雨にグラウンド・コンジションは悪く選手は雨中に苦戦を續けたが、熱意に燃ゆる青年の覇氣は雨や上にも昇り雨をおかして押しかけた観衆五千、全日本大会への制覇行進曲を奏でてゐた。

第一日(二十三日)午前十一時折雨となり文字通りの濡れ鼠と化した(記録は別項の通り)。

五人組強盗

邦人宅を荒し廻る 家人を縛り上げ脅迫

去る十九日深夜中野区上野山に於いて、五人組強盗が邦人宅を荒し廻り、家人を縛り上げ脅迫した。犯人は五人、川口(男、廿六)宅に侵入し、家人を縛り上げ、三十分直ちに百金を提出せよと脅迫した。犯人は五人、川口(男、廿六)宅に侵入し、家人を縛り上げ、三十分直ちに百金を提出せよと脅迫した。

怖恐の村農

去る十九日深夜中野区上野山に於いて、五人組強盗が邦人宅を荒し廻り、家人を縛り上げ脅迫した。犯人は五人、川口(男、廿六)宅に侵入し、家人を縛り上げ、三十分直ちに百金を提出せよと脅迫した。

降雨はげしく

記録は一般に低調

水しぶきを上げるトラック
第一日午後、持ち直した天候も夜に入ると再び雷雨を伴ふ豪雨となつて直りかけたグラウンドもぬかるみとなり之の修理に全役員出動してカマダとなつて働く始末、大会は小学校レレーに次ぎ百米決戦より火蓋を切つたが時々驟雨来り未完成のトラックは水しぶきをあげ走る選手は全身が濡れとなり記録は一般に低調であつた。

祝

事領總
三孝毛市

在伯邦人スポーツの隆盛に伴ひ適當な運動場をもちたいとの要求が特に一兩年來強く叫ばれて來たところ此度御地に綜合運動場の建設を見るに至つたことは、定に嬉しい事で御座います。さぞかし直接運動に關係する諸君の喜びは元より父兄及先輩諸氏御満足のものと存じます。恰かも時宜に當つた此の實現に對しては在伯邦人スポーツとしても喜びと感謝を以て見て居ることと存じます。茲に念願の運動場を得たる以上技術の進歩も記録の向上も又スポーツ精神の振興も諸君として十分覺悟して居られる所でありませうし、スポーツ全體として期待してゐる處であります。蓋しスポーツは精神なる言葉は現代生活の各方面に活用出来る多くの特質を含んで居ります。その振興は各個人がスポーツの發展のために日伯兩國親善のために最も安全にして力強い原動力であります。正にスポーツが大きい伸びがある此際日本が國民を擧げて非常時の活躍を見てゐる此際特に近づきつゝある東京オリンピック大會を控へて此點十二分の理解を持ちたい。

拜官亡者に福音

下級官吏は現地採用 外務省の官吏採用規定變更

景氣が良くなるガ、支那、オランダ語等のと官吏の素性が修得者で外務省の留學生書配生に旅行より歸郷と共に突然現地に於いて、近頃國內では優秀者を求める事が困難となつた。外務省の留學生書配生に旅行より歸郷と共に突然現地に於いて、近頃國內では優秀者を求める事が困難となつた。

玩具にされた

棉作者代表會議 勸業部の不統制を暴露

二十名、柔道では富川道場の二十五名を筆頭に次いで小野龍一、といふ時代物。官吏往來、市毛總領事は大使館と事務打合せのため昨廿四日夜行で上野、廿七日歸郷の豫定、バリスラ延陸青年連盟主催のハ延陸上大会は、新設グラウンドの開設を記念して二十三日の雨の日に同競技場に於いて華々しく行われた。

舌の選士

申込既に十四名 全伯辯論大會準備成る

既報、九月六日コチヤ産業組合會館に於いて開催される第一回全伯辯論大會について主催者側の聖西聯合青年會では去る二十一日タボン小學校で準備委員會を開き打合せをしたが當日決定した要項左の通り。

球陽協會

本年度定期總會

BRIDGESTONE
國産の誇
堅牢無比

大阪屋洋服店 開業拾週年記念

◆謝恩奉仕割戻券附大賣出し◆
弊店開業以來、皆様の絶大なる御引立に依りまして茲に十週年を迎へる事が出来た事を深く感謝致します。此の記念に、平素の御恩に報ゆる爲め左記の規定に依り、御注文の御引立に御引立致します。

大阪屋洋服店

磯谷龍子

鍼灸の神様

磯谷龍子

鍼灸の神様

公認鍼灸師 磯谷龍子
治湯灸鍼 長々院本

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII

S. Paulo - 3.a-feira 25 de Agosto de 1937

Num. 1.187

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR
Masaaki Udhara
GERENTE
Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3925 e 7-3328

Caixa Postal, 375
Endereço Telegrafico: "Nippak"

SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL

Por ano, 30\$000

Por semestral, 16\$000

Numero avulso, \$500

PARA O EXTERIOR

Por ano, 1\$000

Annuncios

Temas a disposição dos interessados

uma tabela completa de preços para

annuncios nesta folha

Voam para o exterior

os «Sellos Patrioticos»

37.876 em poucos dias!

Tokio, Junho — Os «Sellos Patrioticos», recentemente expostos a venda e cujo producto se destina para fomentar a aviação em nosso país, tem tido sahida realmente surpreendente, tal o grau de patriotismo reinante entre nós. O mais interessante é, porém, a elevação do numero de pedidos que chegam do exterior, principalmente dos Estados Unidos e da China. O numero desses sellos foi calculado em: 37.876, no valor de 1782 yens e 2 sens (8.900\$000), apurando-se um saldo de 757 yens e 82 sens a favor da aviação.

A officialisação da cultura algodoeira na Mandchuria

Tokio, Junho — Telegrama procedente de Shinkyô annuncia que a cultura do algodão no territorio mandchú, considerada uma das industrias mais importantes, já pela extensão do seu territorio, já pela estreita relação que o algodão mantém com-nosso, será officializada, afim de intensificar a sua producção.

Nankin foi novamente bombardeada!

Continua intensa a actividade da aviação nipponica

— A morte heroica de um aviador nipponico —

Outras noticias

Resolução tardia e sem cabimento

Tokio, 16 — Após o bombardeio que soffreu a aviação chinesa, no qual perdera 70 % de seus aparelhos, o inimigo esforça-se para tentar uma «desforra».

Para isso a China quer contratar aviadores estrangeiros, pagando um ordenado mensal de 1.000 dollares; e aquelle que conseguir derrubar um avião japonês, receberá como premio mais a quantia de 1.000 dollares. Um premio maior será offerecido ao aviador que conseguir bombardear o Consulado Geral do Japão ou vasos de guerra japoneses. Nestes moldes, os chineses fazem intensa propaganda, para alcançar por assim dizer uma cousa impossivel.

Os representantes das Finanças do Japão organizaram um Syndicato para auxiliar o governo

Tokio, 17 — Em vista da gravidade cada vez crescente da China do Norte, o ministro do Commercio e Industrias, sr. Yoshino, para conseguir o apoio total da classe financeira, formou um syndicato, composto de magnatas commerciaes, como Mitsui, Mitsubishi, e outros.

Consta que o referido ministro determinou a importação de certos e determinados artigos necessarios á Marinha e ao Exercito nacionaes.

200.000 refugiados chineses nas concessões franceza e ingleza!

Shanghai, 19 — Calcula-se em 200.000 os refugiados chineses que procuraram as concessões ingleza e franceza, na maioria trazendo apenas a roupa do corpo. Acossados pela fome, numerosos refugiados percorrem as ruas das concessões, havendo saques e roubos em varios pontos. Em virtude dessa atmosfera inquietadora a concessão franceza está se esforçando para expulsar os elementos perturbadores da ordem.

Panico popular na China

O governo nacionalista perde a confiança do povo

Tokio, 19 — O povo chinês, que, illudido pela propaganda do governo de Nankin, não temia a aviação nipponica, soffrendo efficientes e repetidos ataques da nossa aviação naval, está tomado de verdadeiro panico. Em Nankin, o povo assustado pelo vento, altas horas da noite de hontem, apagou as luzes, e alguns aviões de caça levantaram vôo. Em Canton tambem correu um boato de que haveria um ataque aereo nipponico, o que causou scenas tragi-comicas, devido a confusão originada.

A morte heroica de um aviador

Ao cair envolto em chamas o tenente Umebayashi despede-se dos companheiros

Tokio, 21 — No ataque aereo a Nankin levado a effeito no dia 17, o primeiro-tenente Umebayashi, da nossa marinha de guerra, abateu varios aparelhos inimigos no ar, e ainda realizou vôos baixos para metralhar posições inimigas. Foi um espectáculo verdadeiramente emocionante, bello e epico, a bravura do valoroso militar.

Infelizmente, porém, um dos canhões anti-aereos do inimigo alcançou o tanque de gasolina do seu aparelho e em poucos momentos era envolvido pelas chamas. O tenente Umebayashi, contudo, não perdeu a calma e aceitou aos aviões amigos, sacudindo o lenço, em signal de despedida! E assim morreu o brilhante, bravo e heroico official da marinha imperial. O seu gesto é um exemplo edificante e commovedor da bravura do soldado nipponico.

Nankin novamente bombardeada

Os aviões nipponicos destroem os depositos de armas e munições

Tokio, 21 — Na manhã de hontem, aparelhos pertencentes á nossa aviação naval, bombardearam novamente Nankin, tendo destruido o estaleiro, os depositos de armas e munições, a sede do Estado Maior e a Escola Militar. Todos os aparelhos regressaram incolumes á base.

As perdas soffridas em consequencia deste bombardeio são enormes. Chang-Kai-Shek, desorientado, convocou apressadamente os chefes militares para uma conferencia, afim de tomar as medidas necessarias.

A redução das taxas telegraphicas entre o Nippon e os E. Unidos

Proposta na conferencia commercial nippo-yankee ora reunida em Nova York

Tokio, Junho — Na conferencia commercial Nippo-Yankee, ora reunida em Nova York, afim de estabelecer novas directrizes que concorram para o incremento do intercambio commercial entre os dois países, foram propostas varias medidas. Uma das que releva em importancia é a referente á redução das taxas telegraphicas actualmente em vigor, consideradas mais caras em relação a outros pontos menos distantes, por exemplo, Tokio-Londres, que é mais barata do que a referente a Tokio-Nova York.

A proposta, devidamente approvada, será apresentada ás companhias cabographicas e aos governos nipponico e yankee, para a devida consideração.

Se essa proposta vingar, tanto o commercio como a imprensa muito lucrarão, pois, o intercambio telegraphico entre os dois países é um dos mais importantes do mundo.



製法 日・英・米
加・愛蘭專賣特許

有馬 有山・太
三醫學博士 創製

元疫免核結

しべる恐核結

中堅の青年 子女の死亡 率最高を極 む、此の際 世界唯一の 結核免疫元 A-O-Wak チンにより 豫防免疫の 發生を計ら れたし我が 祖國にては 軍人學生官 公衆團への 公衆衛生の 注射數四十 二萬余人を 超ゆ

大正十四年 (一九二五年)	昭和元年 (一九〇六年)	昭和二年 (一九〇八年)	昭和三年 (一九〇九年)	昭和四年 (一九一〇年)	昭和五年 (一九一一年)	昭和六年 (一九一二年)	昭和七年 (一九一三年)	昭和八年 (一九一四年)	昭和九年 (一九一五年)	昭和十年 (一九一六年)	昭和十一年 (一九一七年)	昭和十二年 (一九一八年)	昭和十三年 (一九一九年)	昭和十四年 (一九二〇年)	昭和十五年 (一九二一年)	昭和十六年 (一九二二年)	昭和十七年 (一九二三年)	昭和十八年 (一九二四年)	昭和十九年 (一九二五年)	昭和二十年 (一九二六年)	昭和二十一年 (一九二七年)	昭和二十二年 (一九二八年)	昭和二十三年 (一九二九年)	昭和二十四年 (一九三〇年)	昭和二十五年 (一九三一年)	昭和二十六年 (一九三二年)	昭和二十七年 (一九三三年)	昭和二十八年 (一九三四年)	昭和二十九年 (一九三五年)	昭和三十年 (一九三六年)	昭和三十一年 (一九三七年)	昭和三十二年 (一九三八年)	昭和三十三年 (一九三九年)	昭和三十四年 (一九四〇年)	昭和三十五年 (一九四一年)	昭和三十六年 (一九四二年)	昭和三十七年 (一九四三年)	昭和三十八年 (一九四四年)	昭和三十九年 (一九四五年)	昭和四十年 (一九四六年)	昭和四十一年 (一九四七年)	昭和四十二年 (一九四八年)	昭和四十三年 (一九四九年)	昭和四十四年 (一九五〇年)	昭和四十五年 (一九五一年)	昭和四十六年 (一九五二年)	昭和四十七年 (一九五三年)	昭和四十八年 (一九五四年)	昭和四十九年 (一九五五年)	昭和五十年 (一九五六年)	昭和五十一年 (一九五七年)	昭和五十二年 (一九五八年)	昭和五十三年 (一九五九年)	昭和五十四年 (一九六〇年)	昭和五十五年 (一九六一年)	昭和五十六年 (一九六二年)	昭和五十七年 (一九六三年)	昭和五十八年 (一九六四年)	昭和五十九年 (一九六五年)	昭和六十年 (一九六六年)	昭和六十一年 (一九六七年)	昭和六十二年 (一九六八年)	昭和六十三年 (一九六九年)	昭和六十四年 (一九七〇年)	昭和六十五年 (一九七一年)	昭和六十六年 (一九七二年)	昭和六十七年 (一九七三年)	昭和六十八年 (一九七四年)	昭和六十九年 (一九七五年)	昭和七十年 (一九七六年)	昭和七十一年 (一九七七年)	昭和七十二年 (一九七八年)	昭和七十三年 (一九七九年)	昭和七十四年 (一九八〇年)	昭和七十五年 (一九八一年)	昭和七十六年 (一九八二年)	昭和七十七年 (一九八三年)	昭和七十八年 (一九八四年)	昭和七十九年 (一九八五年)	昭和八十年 (一九八六年)	昭和八十一年 (一九八七年)	昭和八十二年 (一九八八年)	昭和八十三年 (一九八九年)	昭和八十四年 (一九九〇年)	昭和八十五年 (一九九一年)	昭和八十六年 (一九九二年)	昭和八十七年 (一九九三年)	昭和八十八年 (一九九四年)	昭和八十九年 (一九九五年)	昭和九十年 (一九九六年)	昭和九十一年 (一九九七年)	昭和九十二年 (一九九八年)	昭和九十三年 (一九九九年)	昭和九十四年 (二〇〇〇年)	昭和九十五年 (二〇〇一年)	昭和九十六年 (二〇〇二年)	昭和九十七年 (二〇〇三年)	昭和九十八年 (二〇〇四年)	昭和九十九年 (二〇〇五年)	平成元年 (二〇〇六年)	平成二年 (二〇〇七年)	平成三年 (二〇〇八年)	平成四年 (二〇〇九年)	平成五年 (二〇一〇年)	平成六年 (二〇一一年)	平成七年 (二〇一二年)	平成八年 (二〇一三年)	平成九年 (二〇一四年)	平成十年 (二〇一五年)	平成十一年 (二〇一六年)	平成十二年 (二〇一七年)	平成十三年 (二〇一八年)	平成十四年 (二〇一九年)	平成十五年 (二〇二〇年)	平成十六年 (二〇二一年)	平成十七年 (二〇二二年)	平成十八年 (二〇二三年)	平成十九年 (二〇二四年)	平成二十年 (二〇二五年)	平成二十一年 (二〇二六年)	平成二十二年 (二〇二七年)	平成二十三年 (二〇二八年)	平成二十四年 (二〇二九年)	平成二十五年 (二〇三〇年)	平成二十六年 (二〇三一年)	平成二十七年 (二〇三二年)	平成二十八年 (二〇三三年)	平成二十九年 (二〇三四年)	平成三十年 (二〇三五年)	平成三十一年 (二〇三六年)	平成三十二年 (二〇三七年)	平成三十三年 (二〇三八年)	平成三十四年 (二〇三九年)	平成三十五年 (二〇四〇年)	平成三十六年 (二〇四一年)	平成三十七年 (二〇四二年)	平成三十八年 (二〇四三年)	平成三十九年 (二〇四四年)	平成四十年 (二〇四五年)	平成四十一年 (二〇四六年)	平成四十二年 (二〇四七年)	平成四十三年 (二〇四八年)	平成四十四年 (二〇四九年)	平成四十五年 (二〇五〇年)	平成四十六年 (二〇五一年)	平成四十七年 (二〇五二年)	平成四十八年 (二〇五三年)	平成四十九年 (二〇五四年)	平成五十年 (二〇五五年)	平成五十一年 (二〇五六年)	平成五十二年 (二〇五七年)	平成五十三年 (二〇五八年)	平成五十四年 (二〇五九年)	平成五十五年 (二〇六〇年)	平成五十六年 (二〇六一年)	平成五十七年 (二〇六二年)	平成五十八年 (二〇六三年)	平成五十九年 (二〇六四年)	平成六十年 (二〇六五年)	平成六十一年 (二〇六六年)	平成六十二年 (二〇六七年)	平成六十三年 (二〇六八年)	平成六十四年 (二〇六九年)	平成六十五年 (二〇七〇年)	平成六十六年 (二〇七一年)	平成六十七年 (二〇七二年)	平成六十八年 (二〇七三年)	平成六十九年 (二〇七四年)	平成七十年 (二〇七五年)	平成七十一年 (二〇七六年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二〇七七年)	平成七十二年 (二
------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------